

文書群名	箱番号	通番号	枝番	史料名	年	月日	西暦	~年月日	~西暦	差出	宛名	形態	数量	損傷度	備考
瀬戸征行氏	1	1		軍歴申立書	(昭和)					申立人 妻 瀬戸清子		状	1	汚損少	瀬戸孝正の軍歴が記載されている。衛生兵として出兵。昭和16年7月に東京大使堂学校に入隊。翌20年2月にグアムで戦死したという。記載のうち、正確な情報は上記のみ。他の情報は妻清子の不正確な記憶で、誤りがいくつか見られる。
瀬戸征行氏	1	2		〔寒川神社御守の感謝につき軍事郵便〕	(昭和17年)	6月13日	1942			関東州水師營満岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	3		〔克夫の写真受取りにつき軍事郵便〕	(昭和18年)	8月20日	1943			満州国牡丹江省東寧県大肚子川 満州 第二六三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1		「吉羽」「角田」の印あり。年次比定は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	4		〔征行の様子伺いにつき軍事郵便〕	(昭和17年)	8月6日	1942			関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子江	葉	1		検閲の点検官は与野。瀬戸征行宛てに 絵はがきを送った旨が記載される。千代子が宮様へお参りに行ったと記載。 山田君宛ての手紙が来たとある。年次 比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	5		〔迎春につき軍事郵便〕	(昭和18年)	1月20日	1943			関東州水師營満洲七八六四部隊ス 瀬 戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は木村。瀬戸征行が生ま れたのは昭和16年9月23日であり、本 史料を翌17年1月に比定すると、生後 四ヶ月で踊れるようになるとは考えに にくい。よって、それ以降の発給と考え られる。昭和18年3月1日時点で、彼は 克夫と呼ばれている（瀬戸1-91）の で、本史料はそれ以前の昭和18年に比 定される。
瀬戸征行氏	1	6		〔征行生誕につき軍事郵便〕	(昭和16年)	10月5日	1941			満州国牡丹江第八軍事郵便所 気付満 洲岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は宮川。瀬戸孝正の中国 大陸出兵後の発給とみられる。彼が中 国大陸出兵前に東京大使堂学校へ入隊 したのが、昭和16年7月31日であり (瀬戸1-1)、同年比定の12月1日付け 生誕書では、子征行の生誕後に触れ ている（瀬戸1-83）。本史料はこれら の間に発給されたとみられるので、昭 和16年に比定される。
瀬戸征行氏	1	7		〔征行の写真受取りにつき軍事郵便〕	(昭和16年)	11月14日	1941			満州国牡丹江第八軍事郵便所 気付満 洲岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。昭和16年12月1 日から同18年6月の間は、吉林省・水 師營におり（瀬戸1-48・83）、その前 後に牡丹江にいることが分かっている (瀬戸1-37・82)。同18年3月に瀬戸 征行は克夫と呼ばれている（瀬戸1-91） ので、本史料は同16年の牡丹江駐 屯時に発給されたとみられる。よつ て、本史料は同年に比定。
瀬戸征行氏	1	8		〔征行の様子伺いにつき軍事郵便〕	(昭和17年)	11月7日	1942			関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は鳴島。北支の瀬戸清が 6年ぶりに帰った、と記載される。昭 和16年11月14日、瀬戸孝正はまだ牡丹 江省に駐屯していた（瀬戸1-8）の で、本史料はそれ以降の年次に比定さ れる。また、昭和18年3月に瀬戸征行 は克夫と呼ばれている（瀬戸1-91）の で、本史料はその間の昭和17年11月に 発給されたとみられる。
瀬戸征行氏	1	9		〔克夫お祝いにつき軍事郵便〕	(昭和18年)	11月16日	1943			満州国牡丹江省第三七軍事郵便所 気 付満州第二六三二部隊吉羽隊 瀬戸孝 正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損	「吉羽」「角田」の印あり。克夫のお 祝いが無事に済んだはず、と記載。兵 器学校の瀬戸清から金錢をいただいた と記載。早乙女組長の母元気で良 かったと記載。年次比定は瀬戸1-87と 同じ。
瀬戸征行氏	1	10		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	10月26日	1943			満州国牡丹江省第三七軍事郵便所 気 付満州第二六三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	「吉羽」「角田」の印あり。吉山の皆 さんや克夫が元気であることを喜んで いる。克夫の祝いも近づいている旨を 記載。年次比定は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	11		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和17年)	8月1日	1942			関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。座間の祭りに瀬 戸征行が連れていった、と記載され る。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	12		〔姉さん産後養生につき軍事郵便〕	(昭和17年)	11月18日	1942			関東州水師營満洲第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は鳴島。「姉さん」の產 後養生を手伝うように記載されてい る。瀬戸征行はもう一人で歩くようにな っただろう、と記載。年次比定は瀬 戸1-90と同じ。

文書群名	箱番号	通番号	枝番	史料名	年	月日	西暦	~年月日	~西暦	差出	宛名	形態	数量	損傷度	備考
瀬戸征行氏	1	13		〔写真二枚送付につき軍事郵便〕	(昭和16年)	12月15日	1941			満州国吉林省新京第一軍事郵便所 気付満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。昭和16年12月、瀬戸孝正是吉林省に滞在しているので、本史料は昭和16年に比定される(瀬戸1-112)。古山への月々の支払いが決まったので、確實に送金するよう記載。
瀬戸征行氏	1	14		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和17年)	12月21日	1942			関東州水師營満洲七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は児島。襦袢は小さいか威佐男に着てもらえよかつた、と記載。両姉さんへも元気に奉公しているから安心するようにと記載。北支の瀬戸清の横浜の叔父さん宅への話も、兄さんから手紙で聞いたという。章二郎兄さんの手紙が来ないと記載。瀬戸清が帰隊後も手紙をくれると記載。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	15		〔大雄山御守受取りにつき軍事郵便〕	(昭和17年)	10月5日	1942			関東州水師營満岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。瀬戸征行の立ち姿を写真で見たい、と記載。立ち姿を見たいという記載から、生誕直後ではないとみられる。征行の生誕は昭和16年9月なので(瀬戸1-6)、本史料の発給は翌年以降とみられる。昭和18年3月に彼は克夫と呼ばれている(瀬戸1-91)ので、本史料は間の昭和17年に比定される。
瀬戸征行氏	1	16		〔慰問品受取りにつき軍事郵便〕	(昭和17年)	11月22日	1942			関東州水師營満洲七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		座間長宿国防婦人会から慰問品をもらった、と記載。検閲の点検官は児島。瀬戸征行の生誕は昭和16年9月なので(瀬戸1-6)、本史料の発給はそれ以降。同年内は牡丹江・吉林省に駐屯しており、水師營駐屯は翌17年以降である。征行は昭和18年3月に克夫と呼ばれている(瀬戸1-91)ので、本史料はその間の昭和17年に比定。
瀬戸征行氏	1	17		〔征行の節句につき軍事郵便〕	(昭和17年)	4月26日	1942			関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。瀬戸征行の節句が近づいたので、座間の兄さんや古山の母さんに問い合わせ、実行するように記載。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	18		〔時局重大につき軍事郵便〕	(昭和16年)	12月12日	1941			満州国吉林省新京第一軍事郵便所 気付満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		瀬戸1-13と同じ。
瀬戸征行氏	1	19		〔煙草などお礼につき軍事郵便〕	(昭和16年)	12月26日	1941			満州国吉林省新京第一軍事郵便所 気付満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子宛	葉	1		検閲の点検官は与野。古山へ月々の支払いをしっかり行うように記載。年次比定は瀬戸1-13と同じ。
瀬戸征行氏	1	20		〔菊枝の件につき軍事郵便〕	(昭和17年)	12月22日	1942			関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は児島。瀬戸孝正是昭和16年12月1日から翌年初めまで吉林省にいるので、本史料の発給年はそれ以降に比定される。昭和18年7月30日には、牡丹省に駐屯する2632部隊に移つており(瀬戸1-82)、本史料はその間の昭和17年に比定される。
瀬戸征行氏	1	21		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	2月3日				関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子江	葉	1		裏面に満州行進曲の歌詞が記載される。検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	22		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	2月4日				関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		裏面に満州行進曲の歌詞が記載される。
瀬戸征行氏	1	23		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	1月14日				関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子江	葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。北支の弟清に度々手紙を出して、返信がないことを心配している。工廠からの僅かな送金で留守中はできる限り節約するように記載。工廠は造兵廠のこととみられる(瀬戸1-6)。
瀬戸征行氏	1	24		〔写真受取りにつき軍事郵便〕	(昭和17年)	3月4日	1942			関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	瀬戸征行の写真二枚が届き、勤務の隙をみて写真を見ていると記載。桃の節句で甘酒が出て美味しかったという。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	25		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和17年)	11月27日	1942			関東州水師營満洲岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1		瀬戸征行が下駄を履いて、木馬を押して歩いていることを想像した、と記載。征行の生誕は昭和16年9月23日であり(瀬戸1-6)、二ヶ月の同年11月時点で歩くことは考えにくい。よって、翌年以降に比定される。同18年7月には牡丹江駐屯の2632部隊に移っている。ここから、本史料は昭和17年に比定される。

文書群名	箱番号	通番号	枝番	史料名	年	月日	西暦	~年月日	~西暦	差出	宛名	形態	数量	損傷度	備考
瀬戸征行氏	1	26		〔森野の家へ礼状につき軍事郵便〕	(昭和)					関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子江	葉	1		瀬戸征行が大きくなり、手に口を持つていくようになったのは可愛いと記載。森野の家に6ヶ月住んでいた旨を記載しており、そこを「自分達の第一歩」としている。大家屋・石沢から征行が祝いのものちやをもつた、と記載。
瀬戸征行氏	1	27		〔桜満開につき軍事郵便〕	(昭和17年)	4月29日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	28		〔親族からの手紙受取りにつき軍事郵便〕	(昭和)	1月20日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は木村。座間菊枝、北支の清、章兄さん(草二郎カ)、栄吉兄さんからの手紙が来た、と記載。町田の姉さんと古山の清子が来て、去年三日に章兄さんと撮影した旨を記載。このときのことを「戦地の事を語り合つたとなつかしく」と、栄吉が手紙に記載していたという。それに対し、孝正は「彼の日を思い出しました」と記載。
瀬戸征行氏	1	29		〔征行の写真受取りにつき軍事郵便〕	(昭和17年)	7月28日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。離乳前の子供の食事には、細心の注意が必要だと記載。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	30		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)					関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は日置。「横田」の印あり。
瀬戸征行氏	1	31		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和17年)	9月5日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子江	葉	1		検閲の点検官は与野。瀬戸征行が立つようになったと記載。昭和17年9月頃であれば、征行は生後約1年なので、立ち始める時期としても自然である。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	32		〔結婚式につき軍事郵便〕	(昭和17年)	1月23日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。瀬戸征行が喰い初めのお祝いを迎えたと記載。喰い初めは子供が生まれてから、生後100日頃に行う儀式。征行の生誕は昭和16年9月23日であり(瀬戸1-6)、その翌年1月に喰い初めが行われたとみられるので、本史料は昭和17年に比定される。「姉上」が1月21日に結婚式をあげたことを祝福している。
瀬戸征行氏	1	33		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和17年)	6月7日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。瀬戸征行もむくむく育っている旨を聞き、暑さに注意せよ、と伝えている。年次比定は瀬戸1-90と同じ。
瀬戸征行氏	1	34		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	2月11日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子江	葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。瀬戸征行の写真を中心としていると記載。
瀬戸征行氏	1	35		〔勤務多忙無沙汰につき軍事郵便〕	(昭和18年)	3月31日	1943			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は木村。克夫が風邪でも引いているのではないかと案じている。「兄章二郎からの新戦場からの初便り」をずっと待っているが来ないと記載。年次比定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	36		〔克夫の写真現像につき軍事郵便〕	(昭和18年)	4月10日	1943			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1		検閲の点検官は木村。梅沢さんが旅順の写真屋に対し、克夫の写真の現像を頼んだようだ、と記載。年次比定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	37		〔出産祝いにつき軍事郵便〕	(昭和16年)	11月7日	1941			満州国牡丹江第八軍事郵便所 気付満 州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は宮川。産後の状態もよく、乳も十分に出て征行も大きくなっている、と聞いて安心した、と記載。瀬戸征行の生誕直後とみられるので、本史料は昭和16年に比定される(瀬戸1-6)。たくさんのお祝いを頂いたので、礼状を出したと記載。森野の石沢繁次郎からも手紙があったという、これは征行誕生日に対するお祝いと考えられる。
瀬戸征行氏	1	38		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	8月24日	1943			満州国牡丹江省東寧県大肚子川 満州 第二六三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は角田。「吉羽」の印あり。克夫が変わりなく元気である、と記載される。年次比定は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	39		〔桜の花満開につき軍事郵便〕	(昭和)					北支派遣仁第一八一八部隊 瀬戸清	神奈川県高座郡相模原町下溝小山丸 座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1	汚損少	検閲の点検官は小林。「No2」と記載。ベンを走らせながら、過ぎし故郷の思い出、ハケの花を見思い出してい、と記載。瀬戸清は孝正の弟(瀬戸1-23)。

文書群名	箱番号	通番号	枝番	史料名	年	月日	西暦	~年月日	~西暦	差出	宛名	形態	数量	損傷度	備考
瀬戸征行氏	1	40		〔水師營廻送便につき軍事郵便〕	(昭和18年)	7月29日	1943			満州國牡丹江省東寧縣大肚子川 満州 第二六三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1		検閲の点検官は角田。「吉羽」の印あり、2632部隊として水師營から牡丹江へ移動した後の瀬戸孝正葉書は、昭和18年7月5日が初見である(瀬戸1-72)。翌年正月頃には水師營へ戻ることも伝えている(瀬戸1-51)ので、本史料は昭和18年に比定される。克夫の写真を撮影したら、送るよう記載。
瀬戸征行氏	1	41		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	9月15日	1943			満州國牡丹江省東寧縣大肚子川 満州第 二六三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は角田。「吉羽」の印あり。克夫の祝いで何かを送ってやれなくて残念だと記載。年次比定は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	42		〔慰問品の扱いにつき軍事郵便〕	(昭和17年)	11月24日	1942			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬 戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は島。届いたと思われる 襦袢は、瀬戸征行が着れないから、姉 さんの赤ちゃんに着てもらいう記載。 征行が大きくなったので、襦袢を 着れないと考えた模様。彼が生誕する 昭和16年9月からしばらく後とみられる。 征行は少なくとも同18年3月に克 夫と呼ばれる始める(瀬戸1-91)ので、 本史料はその間の同17年に比定され る。
瀬戸征行氏	1	43		〔征行風邪につき軍事郵便〕	(昭和)	2月5日				関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬 戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損	検閲の点検官は木村。瀬戸征行の風邪 を心配し、元気に遊んでいるか確認して いる。
瀬戸征行氏	1	44		〔水師營の桜咲き始めにつき軍事郵 便〕	(昭和18年)	4月28日	1943			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は木村。年次比定は瀬戸 1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	45		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	1月22日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子江	葉	1		検閲の点検官は与野。先日、兄弟二郎 と写真を撮ったので、写真は兄さんか 古山へ届けよう、と記載。
瀬戸征行氏	1	46		〔姉さん新生児の名付けにつき軍事郵 便〕	(昭和17年)	12月11日	1942			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬 戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		点検官は児島。瀬戸征行が「忽ち三歳 になる」とある。数え年の関係で、征 行は年明けに3歳になるという意味で ある。征行の生誕は昭和16年9月23 日であり(瀬戸1-6)、同18年元旦に 数え年で3歳になる。本史料はその直 前の発給なので、昭和17年に比定され る。姉さんの赤ちゃんの名前は決まつ たかと聞いている。
瀬戸征行氏	1	47		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	4月9日	1943			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬 戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1		点検官は木村。克夫は瀬戸征行のこと で、彼は昭和17年12月11日時点で征行 と呼ばれており(瀬戸1-46)、本史料 はそれ以降に発給されたとみられる。 少なくとも同19年正月の時点で、瀬戸 孝正是7864部隊から2632部隊に移って いる(瀬戸1-51)。よって、本史料は その間の同18年に比定される。
瀬戸征行氏	1	48		〔克夫はしかにつき軍事郵便〕	(昭和18年)	6月18日	1943			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		点検官は木村。克夫がはしかにかか り、軽く済んだと記載される。年次比 定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	49		〔姉さん女子安産につき軍事郵便〕	(昭和17年)	12月7日	1942			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬 戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	欠損	検閲の点検官は児島。座間の姉さんが 女子を安産したと記載。瀬戸征行の体 に気を付けるように記載。
瀬戸征行氏	1	50		〔征行写真につき軍事郵便〕	(昭和)	2月17日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。瀬戸征行の写真 が出来る件について記載。
瀬戸征行氏	1	51		〔新春につき軍事郵便〕	(昭和19年)		1944			満洲國牡丹江第三七軍事郵便所 気付 満州第二六三二部隊 吉羽隊 瀬戸孝 正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1		本史料は日付はないものの、新春の話 とみられるので、正月に発給されたと思 われる。克夫が4歳の春を迎えたと記載。 克夫が生まれたのは、昭和16年9月23 日であり(瀬戸1-6)、数え年で4歳にな るのは、昭和19年元旦である。よって、 本史料は昭和19年正月頃に発給されたと みられる。
瀬戸征行氏	1	52		〔征行の鈴鹿明神参拝につき軍事郵 便〕	(昭和)					満洲國牡丹江第八軍事郵便所 気付滿 州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。「工廠から二回 目の俸給送金があつた等、座間から通 知があつた」とあり。工廠は造兵廠の こととみられる(瀬戸1-6)。
瀬戸征行氏	1	53		〔御産間近につき軍事郵便〕	(昭和16年)		1941			満洲國牡丹江省東寧縣城子講 第八軍 事郵便所 気付岩七八六四部隊 瀬戸 孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は宮川。瀬戸清子の御產 が間近であり、よく母さんに聞いて準 備し、産後安静にするよう伝えてい る。子征行は昭和16年9月23日生まれ なので(瀬戸1-6)、本史料も同年に 比定される。
瀬戸征行氏	1	54		〔神社祭典につき軍事郵便〕	(昭和)	10月27日				満洲國牡丹江第八軍事郵便所 気付滿 州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は宮川。

文書群名	箱番号	通番号	枝番	史料名	年	月日	西暦	~年月日	~西暦	差出	宛名	形態	数量	損傷度	備考
瀬戸征行氏	1	55		〔敏次の任地につき軍事郵便〕	(昭和)					満洲国牡丹江第八軍事郵便所 気付満州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は宮川。瀬戸孝正の任地から約二里半離れたところに、座間政吉宅の敏次がいると記載。
瀬戸征行氏	1	56		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	11月18日				満洲国牡丹江第八軍事郵便所 気付満州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。下溝の兄さんは水道局に勤める言っていたと記載。
瀬戸征行氏	1	57		〔征行写真につき軍事郵便〕	(昭和)	5月20日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	58		〔出産祝いにつき軍事郵便〕	(昭和17年)	12月13日	1942			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は児島。両姉さんが産後も元気であることに對し、何よりだと記載。その赤ちゃんのお祝いの品を清子の方で出したことが記載されている。
瀬戸征行氏	1	59		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	5月11日	1943			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1		検閲の点検官は木村。克夫の元気な姿に安心した。と記載。年次比定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	60		〔両姉さん近々御産につき軍事郵便〕	(昭和17年)	10月3日	1942			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。日々、座間古山の両姉さんの御産がある、と記載。昭和17年比定の12月13日付け軍事郵便には、両姉さんの産後の記述がある(瀬戸1-58)。本史料はその直前に位置づけられるので、昭和17年に比定すべき。
瀬戸征行氏	1	61		〔送金につき軍事郵便〕	(昭和16年)	12月28日	1941			満洲国吉林省新京第一軍事郵便所 気付満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子宛	葉	1		「弘さん」が亡くなったことをお悔やみ申し上げている。昭和16年比定の2月5日付け瀬戸千代子葉書にも、彼が亡くなったと記載されている(瀬戸1-67)。ここから、本史料は同年に比定される。
瀬戸征行氏	1	62		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和17年)	5月4日	1942			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は木村。克夫が歩き回つて一番危険なときだらうから、子守も大変だろと記載。年次比定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	63		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	11月11日				関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は児島。瀬戸征行が風邪を引かず元気にしているか記載。
瀬戸征行氏	1	64		〔征行写真につき軍事郵便〕	(昭和)	1月3日				関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は木村。瀬戸征行が別人のように大きくなり、顔型も兄さんらしくなった、と記載。大内軍医が造兵廠に度々行っている旨を記載。瀬戸孝正が造兵廠から給料をもらっている(瀬戸1-6)での、以前に孝正が造兵廠で働いており、大内軍医と知り合いだった可能性がある。
瀬戸征行氏	1	65		〔衣類点数式切符制の実施につき軍事郵便〕	(昭和)	2月1日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	66		〔銃後切符制につき軍事郵便〕	(昭和)	2月3日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子江	葉	1		検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	67		〔孝正の新京移動につき葉書〕	(昭和16年)	12月5日	1941			高座郡相模原町座間 瀬戸千代子	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子様	葉	1		消印に「16・12・5」とあり。ここから、本史料は昭和16年に比定される。蒲田の弘が11月から病氣で休んでいたが、亡くなっと記載。「東京市蒲田区仲六郷」の住所があり、おそらく「弘さん」の住所とみられる。瀬戸孝正が新京に行かれたそうだと記載。新京は吉林省にある。
瀬戸征行氏	1	68		〔大陸の気候につき軍事郵便〕	(昭和16年)	9月24日	1941			満洲国牡丹江第八軍事郵便所 気付満州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は宮川。大陸の気候に慣れてきたと記載しており、中国大陆へ移動した直後の史料とみられる。瀬戸孝正が中国大陆へ出兵したのは昭和16年7月以降(瀬戸1-1)。気候への慣れという記述がある点、同年10月には生まれる、子征行に関する記述がまだない点を考慮すると、本史料は同年に比定される。
瀬戸征行氏	1	69		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	11月25日				関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		瀬戸征行の立っている姿を早く見たい。と記載。
瀬戸征行氏	1	70		〔子どもの名付けにつき軍事郵便〕	(昭和16年)	9月23日	1941			満洲国牡丹江第八軍事郵便所 気付満州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸座間サト様方 瀬戸清子殿	葉	1		検閲の点検官は吉川。座間に注意して母子二人の写真を送るように記載。任地からは封筒が禁じられているが、内地からはでもいいのだと記載。これから生まれる子供の名前について、男が生まれたら征行、女が生まれたら満江と名付けるように伝えている。昭和16年9月23日に生まれている(瀬戸1-6)ので、本史料は同年に比定され

文書群名	箱番号	通番号	枝番	史料名	年	月日	西暦	~年月日	~西暦	差出	宛名	形態	数量	損傷度	備考
瀬戸征行氏	1	71		〔ご無沙汰につき軍事郵便〕	(昭和18年)	6月1日	1943			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様	葉	1		検閲の点検官は木村。年次比定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	72		〔ご無沙汰につき軍事郵便〕	(昭和18年)	7月5日	1943			満洲國牡丹江省東寧縣大肚子川満州第 二六三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様	葉	1		農繁時の田畠仕事はお忙しいだろう、 と記載。年次比定は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	73		〔非常下につき軍事郵便〕	(昭和17年)	1月1日	1942			満洲國吉林省新京第一軍事郵便所 気 付満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様	葉	1		検閲の点検官は与野。年次比定は瀬戸1-13と同じ。
瀬戸征行氏	1	74		〔ご無沙汰につき軍事郵便〕	(昭和)	4月25日				関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様	葉	1		検閲の点検官は木村。
瀬戸征行氏	1	75		〔御母上へお礼につき軍事郵便〕	(昭和18年)	3月15日	1943			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様	葉	1	汚損少	検閲の点検官は木村。年次比定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	76		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	3月30日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間菊枝様	葉	1		検閲の点検官は与野。年次比定は瀬戸1-13と見られる。
瀬戸征行氏	1	77		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	7月5日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間菊枝殿	葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。瀬戸征行の手紙 と一緒に菊枝の手紙を受け取ったと記載。
瀬戸征行氏	1	78		〔征行祝儀につき軍事郵便〕	(昭和)	11月3日				満洲國牡丹江第八軍事郵便所 気付満 州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様	葉	1	汚損少	検閲の点検官は宮川。瀬戸征行がたく さん祝儀をもらったことを記載。
瀬戸征行氏	1	79		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)	1月13日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様	葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。「征行が口に手 を当てるなど、色々可愛い」と記載。
瀬戸征行氏	1	80		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	4月9日	1943			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様	葉	1		克夫が近所の子供と遊んでいる様子を 承った、と記載。検閲の点検官は木村。 年次比定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	81		〔御産につき軍事郵便〕	(昭和16年)	9月7日	1941			満洲國牡丹江第八軍事郵便所 気 (「付」脱) 滿州岩七八六四部隊ス 瀬 戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様	葉	1		検閲の点検官は宮川。瀬戸清子の御産 が間近と記載。征行の誕生日は昭和16 年9月23日なので(瀬戸1-6)、本史料 も同年に比定される。
瀬戸征行氏	1	82		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	7月30日	1943			満洲國牡丹江省東寧縣大肚子川満州第 二六三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様	葉	1		検閲の点検官は角田。克夫は昭和17 年12月11日時点で征行と呼ばれるので (瀬戸1-46)、本史料はそれ以降に発 給されたとみられる。また、同19年正 月時点では、瀬戸孝正は2632部隊として 本史料差出と同じ場所におり、「この 便りが着く頃には水師營に帰ってい る」と記載(瀬戸1-51)。ここから本 史料は同18年に比定。
瀬戸征行氏	1	83		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和16年)	12月1日	1941			満洲國吉林省新京第一軍事郵便所 気 付満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山丸 座間菊枝殿	葉	1		検閲の点検官は与野。年次比定は瀬戸 1-13と同じ。
瀬戸征行氏	1	84		〔写真・御守りお礼につき軍事郵便〕	(昭和17年)	8月16日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間菊枝様	葉	1		検閲の点検官は与野。皆さんの写真が 一番の楽しみであり、今度は瀬戸征行 と一緒に写真をお願いします、と記 載。
瀬戸征行氏	1	85		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	6月17日	1943			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間菊枝様	葉	1		検閲の点検官は木村。年次比定は瀬戸 1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	86		〔写真受取りにつき軍事郵便〕	(昭和)	5月25日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間菊枝様	葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。「腹が立つ程待 ちに待った征行の写真か本日届いた。 」と記載。
瀬戸征行氏	1	87		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	10月18日	1943			満洲國牡丹江省東寧縣大肚子川牡丹江 第三十七軍事郵便所 気付満州第二六 三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間菊枝様	葉	1	汚損少	昭和18年6月18日の時点で、瀬戸孝正 は7684部隊に所属しており(瀬戸1- 48)、少なくとも同年7月30日に2632 部隊へ移っている(瀬戸1-82)。翌19 年正月に本史料差出と同じ場所から、 孝正が「この便りが着く頃には水師營 に帰っている」と伝えている(瀬戸1- 51)。本史料はその間の昭和18年に比 定される。
瀬戸征行氏	1	88		〔古山へ帰りにつき軍事郵便〕	(昭和18年)	4月1日	1943			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬戸孝正	東京市世田谷区世田谷 大内牧多様方 座間菊江様江(ママ)	葉	1		検閲の点検官は木村。座間菊枝が節句 の際に古山へ帰った、と記載。年次比 定は瀬戸1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	89		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	5月31日	1943			関東州水師營満州第七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間菊枝様	葉	1		検閲の点検官は木村。年次比定は瀬戸 1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	90		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和17年)	6月8日	1942			関東州水師營満岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間菊枝様	葉	1		検閲の点検官は与野。「征行は可愛い 手を口元に持つて行き、菓子を食ふ程 になつた」と記載。瀬戸征行は昭和16 年9月23日に生まれている(瀬戸1-6) ので、本史料はそれ以降に発給された とみられる。昭和18年3月1日時点 で、彼は克夫と呼ばれている(瀬戸1-91) ので、「征行」とある本史料は昭和17 年に比定される。
瀬戸征行氏	1	91		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	3月1日	1943			関東州水師營満州七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間ゆく子様	葉	1		検閲の点検官は木村。年次比定は瀬戸 1-47と同じ。
瀬戸征行氏	1	92		〔産後経過の伺いにつき軍事郵便〕	(昭和)	10月23日				関東州水師營満洲七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間ゆく子様	葉	1	汚損少	検閲の点検官は児島。その後、産後の 経過はいかがかと記載。

文書群名	箱番号	通番号	枝番	史料名	年	月日	西暦	~年月日	~西暦	差出	宛名	形態	数量	損傷度	備考
瀬戸征行氏	1	93		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和17年)	8月27日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。年次比定は瀬戸1-90と同じ。	
瀬戸征行氏	1	94		〔近況につき軍事郵便〕	(昭和)					関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 葉	1	汚損少	検閲の点検官は与野。	
瀬戸征行氏	1	95		〔封筒〕	(昭和18年)	11月11日	1943			満洲國牡丹江省第三七軍事郵便所 気 付満州第二六三二部隊吉羽隊 瀬戸孝 正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様	封筒	1	汚損少	「吉羽」「角田」の印あり。年次比定 は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	96		〔封筒〕	(昭和)	6月8日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1	汚損少	「写真在中」と記載。検閲の点検官は 「与野」。
瀬戸征行氏	1	97		〔封筒〕	(昭和)	9月15日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様	封筒	1		検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	98		〔封筒〕	(昭和)					松本親理		封筒	1	汚損少	
瀬戸征行氏	1	99		〔封筒〕	(昭和)					神奈川県厚木市厚木 神奈川県厚木保 健所	■ (座) 間町 瀬戸清子殿	封筒	1		
瀬戸征行氏	1	100	0	〔封筒〕	(昭和18年)	11月28日	1943			満洲國牡丹江第三七軍事郵便所 気付 満州第二六三二部隊吉羽隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1	汚損少	「吉羽」「角田」の印あり。年次比定 は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	100	1	〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	11月28日	1943			瀬戸孝正	清子様	状	1		「水師營にいる山田にも来年早々に会 えるはずだ」と記載。ここから、この 時点で翌年始めに牡丹江から水師營へ 行くことが決定していたとみられる。 昭和19年正月頃に、瀬戸孝正が「この 便りが着く頃には水師營に帰ってい る」と記載（瀬戸1-51）。本史料はそ れ以前の同18年に比定される。
瀬戸征行氏	1	101		〔封筒〕	(昭和)					八王子市天神町（鬼子母神前）アオ キ写真館	小林様	封筒	1		「3枚在中」とあり。
瀬戸征行氏	1	102	0	〔封筒〕	(昭和)	3月19日				瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1	汚損少	
瀬戸征行氏	1	102	1	〔帰還の件につき書状〕	(昭和19年)	3月20日	1944			水師營にて 孝正		状	1		今後、克夫が医者に診てもらったら、 症状を細かく知らせるように催促。7 月頃には帰れると思っているので、そ のときは一生懸命に働き、親子3人で 朗らかに暮らそう、と記載。
瀬戸征行氏	1	103	0	〔封筒〕	(昭和18年)	10月14日	1943			満洲國牡丹江東寧県大肚子川牡丹江 第三七軍事郵便所 気付満州第二六三 二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1		「吉羽」「角田」の印あり。年次比定 は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	103	1	〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	10月14日	1943			瀬戸孝正	瀬戸清子殿	状	2		「二回の誕生（「日」脱）も元気に過 ぎて何より」とあるので、克夫が生ま れて二年の頃に、本史料は発給された とみられる。克夫が片言に話すことが できるようになった、と記載される。 南方の兄さんは久しく手紙がなく、弟の清からは手紙があると記載。 風邪から肺炎になるから、克夫には注 意するよう記載。
瀬戸征行氏	1	104	0	〔封筒〕	(昭和18年)	12月4日	1943			満洲國牡丹江 第三七軍事郵便所 気 付満州第二六三二部隊吉羽隊 瀬戸孝 正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1		「吉羽」「角田」の印あり。年次比定 は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	104	1	〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	12月4日	1943			瀬戸孝正	清子殿	状	2		本史料は瀬戸1-104-0に、発給時から 封入されていたとみられるので、昭和 18年に比定される。メガネが壊れたの で、送金してほしいと記載。兵器学校 の清が卒業し、再び戦地へ向かうので 見送りを頼む、と記載。
瀬戸征行氏	1	105	0	〔封筒〕	(昭和18年)	10月6日	1943			満洲國牡丹江省牡丹江 第三十七軍事 郵便所 気付満州第二六三二部隊本部 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山 座 間サト様	封筒	1	汚損少	差出の「東寧県大肚子川」に斜線が引 かれている。「吉羽」「角田」の印あり。 年次比定は瀬戸1-87と同じ。
瀬戸征行氏	1	105	1	〔近況につき軍事郵便〕	(昭和18年)	10月6日	1943			瀬戸孝正	母上様	状	2		本史料は瀬戸1-105-0に、発給時から 封入されていたとみられるので、昭和 18年に比定される。
瀬戸征行氏	1	106		〔封筒〕	(昭和)	2月23日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子江	封筒	1		「旅順戰蹟記念写真」の封筒が使用さ れている。検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	107		〔封筒〕	(昭和)	1月31日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1	汚損少	検閲の点検官は木村。
瀬戸征行氏	1	108		〔封筒〕	(昭和16年)	12月26日	1941			満洲國吉林省新京第一軍事郵便所 気 付満州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子宛	封筒	1		検閲の点検官は与野。年次比定は瀬戸 1-13と同じ。
瀬戸征行氏	1	109		〔春雨につき軍事郵便〕	(昭和)	4月27日				関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 葉	葉	1		検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	110		〔月見につき軍事郵便〕	(昭和17年)	4月1日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸征行殿	葉	1		検閲の点検官は与野。年次比定は瀬戸 1-90と同じ。

文書群名	箱番号	通番号	枝番	史料名	年	月日	西暦	~年月日	~西暦	差出	宛名	形態	数量	損傷度	備考
瀬戸征行氏	1	111		〔厳寒につき軍事郵便〕	(昭和16年)	10月27日	1941			満洲国牡丹江 第八軍事郵便所 気付 満州岩七八六四部隊 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山丸 座間サト様方 瀬戸征行殿	葉	1	汚損少	裏面に理髪の絵はがきあり。瀬戸征行に対し、「大いに泣て、沢山乳を呑んで大きくなつてくれ。」と記載。ここから、征行の誕生直後とみられる。よって、本史料は昭和16年に比定される(瀬戸1-6)。
瀬戸征行氏	1	112	0	〔封筒〕	(昭和) 16年	12月13日	1941			満洲国吉林省新京第一軍事郵便所 気付 満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1		「8.12.13」の消印あり。これは満州国の年号である康徳8年を指しております。よって、本史料は昭和16年に比定される。「吉林の風景」と印字されている。検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	112	1	〔絵葉書一括〕								絵葉	10		吉林省の風景が映っている。
瀬戸征行氏	1	113		〔絵葉書一括〕								絵葉	13		
瀬戸征行氏	1	114		〔写真一括〕								写真	4		瀬戸家に関係するとみられる女性の写真もある。
瀬戸征行氏	1	115		〔瀬戸清子似顔絵〕								状	2		
瀬戸征行氏	1	116		〔懇談会のレジュメ〕	(昭和)							状	17		
瀬戸征行氏	1	117	0	〔封筒〕	(昭和) 16年	12月1日	1941			満洲国吉林省新京第一軍事郵便所 気付 満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様	封筒	1		「8.12.1」の消印あり。これは満州国の年号である康徳8年を指しております。よって、本史料は昭和16年に比定される。「観光の吉林」と印字されている。検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	117	1	〔絵葉書一括〕								絵葉	4		吉林省の風景が映っている。
瀬戸征行氏	1	118	0	〔封筒〕	(昭和) 16年	12月28日	1941			満洲国吉林省新京第一軍事郵便所 気付 満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1		「8.12.28」の消印あり。これは満州国の年号である康徳8年を指しております。よって、本史料は昭和16年に比定される。「探勝の吉林」と印字されている。検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	118	1	〔絵葉書一括〕								絵葉	5		吉林省の風景が映っている。
瀬戸征行氏	1	119	0	〔封筒〕	(昭和) 16年	12月21日	1941			満洲国吉林省新京第一軍事郵便所 気付 満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町麻溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1		「8.12.21」の消印あり。これは満州国の年号である康徳8年を指しております。よって、本史料は昭和16年に比定される。「苦力の生活」と印字されている。検閲の点検官は与野。
瀬戸征行氏	1	119	1	〔絵葉書一括〕								絵葉	5		吉林省の風景が映っている。
瀬戸征行氏	1	120	0	〔封筒〕	昭和17年	3月4日	1942			関東州水師營満州岩七八六四部隊ス 瀬戸孝正	神奈川県高座郡相模原町下溝古山字丸 座間サト様方 瀬戸清子殿	封筒	1	汚損少	「大溝州風俗」と印字されている。
瀬戸征行氏	1	120	1	〔絵葉書一括〕								絵葉	3		満州国の風景が映っている。
瀬戸征行氏	1	121		〔瀬戸孝正カ似顔絵〕	(年欠)										メガネの軍服姿。瀬戸孝正がメガネを壊したので、送金してほしいと記載していた点を考慮すると、彼の似顔絵ではないかと考えられる(瀬戸1-104-1)。
瀬戸征行氏	1	122		〔雑文書一括〕								状	2		